



大 報 おおおじめ

昭和47年11月30日 No. 237

編集と 鹿児島県肝属郡大根占町役場
発行 企画室 企画係
電話 (09942) 2-0511~0515
印刷 さかせが印刷所 電話 2-0140
町の 昭和47年10月1日 現在推計人口
人口 男 4,708人 計 10,405人
女 5,697人
前月より 22人 減

四たび重責をになつて

町長 坂元 左武郎



この十一日、町民みなさまのかわらぬ御支持のもと、私としては四期目の町長の職を奉ずることになりました。

過去、三期十二年の間、非

才の身をもつて、みなさま方

の御支援御協力、町議会をは

じめ関係機関の御尽力をいた

だき、大過なく重任を何とか

遂行し得ましたことを深く感

謝申し上げ次第でございます。

この間、いろんな問題も

あり、町民みなさまに、御迷

惑、御心配をおかけしたこと

もございましたが、とにかく

をいただいております。

私は、このような過去を反

省しつつ、いままでの経験を

生かして今後の町政運営に処

して参りたいと存じます。

わが国のこれまで経済大国

と云われるまでにいたる、い

ままでの経済成長優先のゆき

方は、きびしい国際情勢と、

国内の公害や環境保全などが

問題化するにつれて、いろん

な面で政策の転換を迫られて

います。このような状況の中

で、わが町の置かれた立場、

条件を冷静にみつめながら、

産業の振興、福祉衛生行政の

充実、教育の振興などの施策

をすすめてゆく所存ござい

ます。いわゆる過疎の現象が

深刻になってきていますが、

さし当って重要な問題は中学

校の統合であります。すでに

中学校統合推進協議会で、長

い間、慎重に審議され答申を

いただいております。今後の

存じます。

すめ方としては、町民みな

さま方と、よく話し合い、十

分御納得をいただいた上で、

実現するように努力いたした

と考えております。

道路の整備は、産業の振興

住民生活の利便と直接つなが

るものでございます。今まで

も努力はして参りましたが、

町全体からみれば、町道、農

林道を含め、まだ／＼不満が

多いことは十分承知いたして

いるつもりです。過疎対策な

ど、いろんな制度を活用しな

がら、この上とも道路の整備

は重点的にすすめるなければ

ならないと考えています。

また、農林水産業中心の町

の産業構造は、今後、ますます

きびしい状況下におかれる

と思います。しかし、町内の

いたるところで、意欲的に基

幹作目にとりくみ、大規模経

営や、生産団地の形成に努力

されている人たちが少なくあ

りません。私は、これらの事

業ができるだけしやすいよう

に関係機関と協調してお手伝

いをし、また、これらの動き

を具体化してゆくことが、町

のすべての産業を振興する基

礎になると思っています。そ

交通栄誉章に輝く

1 牧口秋彦さん

町役場総務課勤務の牧口秋彦さん(50才)はこのほど、全日本交通安全協会から、交通栄誉章「緑十字銅章」を授賞されました。

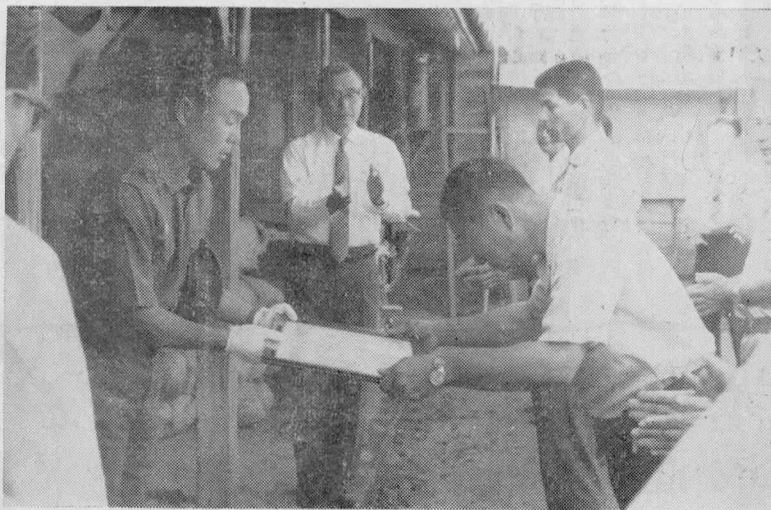
この賞は、二十年以上無事故、無違反の優良運転手に贈られるものです。

牧口さんは、昭和十七年に免許を取得し、以来三十年も

のあいだ無事故、無違反を続けておられる模範運転手です。

牧口さんは「ただ、交通安全法をまもり、安全運転を心がけただけです」と事も無げに話しておられます。

当日は鶴大根占署長から、表彰状と銅章を伝達され、同僚の職員らの祝福を受けました。



★赤ちゃん妊婦検診は毎週月曜日

午後一時～二時まで

★一般の検診は毎週金曜日

午後一時～二時まで

農業委員見てある記

研修視察

町農業委員一行十二人が、先日研修視察をおこないましたので、その概要と見ての感想をお話しし、少しでも皆さんの役に立てば幸いです。

◎視察の概況

◎高尾野町江内農協

この農協は、組合長が活動的で、アイディアマンであり、県下でも数少ない農協預託牛とみかん栽培が盛んであるということで視察しました。

〔畜産〕

管内に十の畜産グループがあり、技術員の手不足を補うため支部長に権限を与え、毎月一回部員の管理状態を百点満点で評価し、七十点以下を技術員が重点指導する。

飼育頭数は、農協預託と県パイロット事業で千百頭、飼育農家数百二十戸、最高五十頭が二戸となっている。

肥育は開始後十四～十五カ月で出荷し、当初から上肉だけで通している。

〔みかん〕

現在百二十haで昭和五十年には二百haに拡張する計画。戸数二百戸で、一戸当り六十aであるが一haを目標にしている。

出荷量は昨年六百tの実績があり、本年は千tを見込んでいる。出荷の内訳は、早生60%、普通30%、甘夏10%で早生が主体で、早生の70%をサツマアザリとして出水郡内統一共販を通して出荷する。

熊本県に近いので、『玉名に負けるな』の合言葉のもとに農家が自主的に町や農協に働きかけ、部落ぐるみでみかん園を造成している。

とりわけ、青壮年の一致した団結は何ものにも変えがたい宝であり、誇りであるとは案内者の話であった。

◎視察を終えての感想

◎江内の預託牛について
施設にはできるだけ金をかけず、素牛をふやすことに力を入れていた。

柱、屋根材はすべて竹で、その上にトタン波板で被った簡単なもので、素牛が少々高くなっても心配はないが、ただ素牛の不足を心配しているとのことである。

江内農協参事の話では『農家の意欲が旺盛で進取の気性に富み、改善点をみつけるとまず、グループで話し合い、役場や農協に働きかけ、実行に移す積極性は私どもの誇りです』と強調されているが、このことが本町に最も不足し要求されることではないでしょうか。

◎経営の規模拡大について

集団農地を造成して、農業の不振から脱却しようとする考え方はどこの市町村も同じで、推進にあたって上から啓蒙してリードしていくか、下からの盛り上りに待つかの別はありますが、拡大の余地は

有無、遊休地の多少、離農者の理解度などによって深刻の度合は差があるようです。

◎みかんの将来について

本町の場合、指導者層から末端農家に至るまで、生産過剰で幾分先行不安を憂えている感がありますが、今回の視察を通じて感じたことは各市町村とも将来は明るく、全く先行不安はないということでありました。

その裏付けとして考えられることは

◎グループの団結が強固で一致した行動がとれる。

◎出水郡内統一銘柄で集出荷が行なわれ、技術員も郡内を一円として相互指導がなされている。

◎早生温州を主体として植付け、阿久根では一部に文旦を入れて特産化している

◎大量出荷で市場を支配し暴落のおそれがない。

◎熊本県に近いこと、他県からの通勤耕作が多くなっているなどで刺激が強く、それに対応する住民の意欲取り組み方に格段の差があるように見受けられました



戸籍相談シリーズ

生年月日の訂正は……

問

長男が生まれたのは、本当は三月二十九日でしたが、出生届をするのが遅れ、四月五日に生まれたように届け出ました。そのため、小学校の入学が一年遅れることになるそうです。いまになってから、生年月日を訂正することができのでしょうか。

答

出生届書には、出生の年月日時分を記載することが必要であって、戸籍には、出生の年月日が記載されます。現在の戸籍法が施行されるようになってからは、届書に医師、助産婦などが作成する出生証明書添付しなければならなくなりましたが、子の生年月日を不注意で誤ったり、故意に偽ったりすることがそれほど多くないようになりましたがそれでも実際には、なにかの事情によって、本当の生年月日でない日に生まれたものと

して届け出られ、そのように記載されていることがあります。

ところで、戸籍に記載された生年月日が真実と違っている場合には、利害関係人は、家庭裁判所の許可を得て、戸籍の訂正を申請することができます。

家庭裁判所で事実を調査した結果、申立が事実であると認めると、申立どおりに戸籍訂正を許可するとの審判がなされます。

許可の審判があったときは、一カ月以内に許可審判書の謄本を添付して申請事件の本人の本籍地または申請人の所在地の市町村役場に戸籍の訂正を申請しなければならないことになります。

なお、この審判に対しては即時抗告が許されるから確定証明書をも添付しなければならない

十周年を迎えた

やまびこ会



山びこ会の綱引き 神川中部落

神川中部落の親子会「やまびこ会」(会長・岡元巖・山口純博・会員四十三人)は、昭和三十八年四月に発足以来毎月例会をもち、花園を造り

できた花を墓や学校にかざったり、映写会、綱引き、相撲大会などいろいろな計画を立てて実行に移し、子供の不良化防止などに成果をあげてい

ます。この会は、子供の健全な成長と、親と、団体生活、親子の対話を深めることを目的としています。

先ほど、恒例の綱引き、相撲大会が、部落民総出で盛大に行なわれ、大人も子供も夜のふけるまでいっしょに楽し

衆議院議員総選挙投票日 12月10日 最高裁判所裁判官国民審査

明るく正しく選び、選ばれよう

町民のひろば

お祝いの簡素化

先ほど、結婚式、米寿の祝と、お祝によばれてありがた

いことでした。

でも、あの記念品は食べる

こともできず、使うこともな

く、家のたなにはたくさん

高価な品物がほりだらけに

なり遊んでいきます。

私は一家の主婦で子供が二

人いますが、病弱なため主人

の土方の収入に頼っています

たとえ家計が苦しくても、

式に記念品がつきますと、そ

れに見合ったお祝をしなくて

はなりません。

祝から帰り、二つの記念品

をながめて、つくづく涙が出

ました。この二つの記念品代

で、病院に三回は行けるの

な一と。

包紙を開いて見て、また包

みなおし、たなの上にのせ、

高くつまれた記念品の山がな

お高くなりました。

必要な品物ならともかく、

どこ家庭でも、使うことも

ないのではないでしょう。

こんな無駄なことは、今、す

ぐにでも廃止するように進め

てもらいたいものです。

私のこの願いは町民大多数の

願いだともいいます。

町内各部落でも、記念品の

廃止運動、お祝の簡素化を進

めてください。

ほりだらけの、高くつま

れた品物が、たなの上から、

かわいそうに見おろしてい

ます。

お正月とかお盆の年に二回

だけ簡素化を叫んでみても、

効果はないともいいます。

町のスローガンとして、機

会があるごとに、部落民に伝え

るようにお願いします。

そして、お祝は、出席した

すべての人が心から祝福して

くれるようなものにしたいた

のです。(病弱主婦より)

町からお願い

冠婚葬祭につきましては、

部落長会をはじめ、あらゆる

会合において、その簡素化を

呼びかけてきましたが、この

ことは、お互の気持ちにあり

ながら、これを進めてゆくた

めには、いろいろ困難な状況に

あります。

そのため、先の部落長連絡

協議会におきまして、お祝

金などの統一をはかったらと

いうことで申し合わせができ

部落長の協力を得て、推進す

ることになりました。

物価が上昇し、生活の不安

と物の価値が下がるなかで、

過疎の防止と住民のささや

かな生活を守るために、この運

動を盛り上げたいと思ってい

ます。次のことについて、町

民皆さんのご協力をお願いし

ます。

◎結婚披露の祝儀(親類、

縁者を除き)は二千元以内

◎その他祝事の祝儀につい

ては 一千元以内

これにあわせて記念品の廃

止をよびかける。

また、官公署の送別会や饗

別に対しての記念品の廃止も

職場によびかける。

にせ税務職員に注意!!

税務の仕事が忙しい時期には、正規の税理士でない人が申告書を

書いてやっ

たり、税務

署に交渉し

てやろうと

持ちかける

場合があり

ます。

税金の申

告の相談ご

とは資格の

ある税理士にたのみましょう
また、年末、確定申告をひ
かえた時期には、税務職員と
いつわって調査などをし、金
品をだまし取る例があります
のでご注意ください。

日本の平和と独立を守り、
国民へ奉仕する優秀な自衛官
を募集しています。
応募希望者は役場総務課庶
務係までご連絡ください。

三、募集期間
昭和四十七年一〇月一日か
ら同年十二月三十一日まで

自衛官を募集します

当しないものとする。

二、試験科目

中学校卒業程度の学力につ

いて行方筆記試験(国語(作

文を含む)数学、社会)、身

体検査、適正検査および口述

試験とする。

三、募集期間

(一) 男子

昭和四十七年一〇月一日か

ら同年十二月三十一日まで

今月の農作業

防風網、かやなどを使用して、年内に対策を講じておく。

ぼんかんの秋肥=収穫十日前後になったら秋肥を施し春枝や花芽の分化を促す

秋肥の施用量は地域の耕種基準によるが、施肥量の4~5割は有機質肥料とする。

病害虫防除=下旬はマシン油散布の時期である。ヤノネカイガラ、アカマル、サンホーゼカイガラムシには油分2.0~2.5%、ハダニだけを対象とする場合は1.0~1.5%の濃度で散布する。

特別に樹勢が弱っている場合は散布をひかえる。

畜産

飼料=青刈飼料の刈取りを行なうが、寒害をさけてやや高目に刈り取る。飼料株は根部の肥大期に入るので密生部分は間引きする。

レンゲにはリンサン肥料を追肥して、根瘤菌の繁殖をたすけ、根の伸長をはかる。

放牧草地の管理としては排糞堆積塊のまきちらしを行なう。

家畜=舎飼いで、防寒対策に留意する。

最近では、飼養規模の拡大によって、開放式畜舎が増えたので、少なくとも北西側の寒波を防ぐため、コモカビニールで囲うとよい。

なお、飼料はカロリーの高い飼料を配合して、夏飼期より10~15%増飼いすることも生産をたかめるために必要なことである。

養蚕

新植準備=植付ホ場の選定にあたっては、農薬、たばこ絞羽病の被害のない所を選定し集団化する。植溝堀りは早目におこなう。深さ50cm巾40cm程度とする。

土じょう改良=植付前に土じょう検定をおこない、土じょう改良資材を基準に従って投入する。地力増進のため有機物を多く施す堆肥の場合10アール当り1,500キロから2,000キロを施す。同時に古株や病株も整理しておく。

天気概況

月のはじめは冬の気圧配置が崩れ、暖かな晴天が続きましょう。中旬頃から大陸の高気圧が発達し、寒波が吹き出す見込みです。

平均気温は並みかやや低く降水量は並みかやや少ないでしょう。日照は平年並みの見込みです。

野菜

レタス=九月まきのレタスの収穫期となるので、適期収穫のうえ、切口を乾かし、外葉三枚程度をつけて箱に詰める。

キウリ=ハウス抑制は収穫最盛期となり促進では収穫初期になるが、低温、短日期になるので、整枝、摘葉などを行なって通風採光をはかるとともに、べと病の防除につとめる。

ピーマン=草勢が強すぎるときは枝を広げ弱いときは直ちに誘引する。

温度は日中25~30度、夜間18度を目標にするが、急激に温度がさがらないよう、徐々に換気する。

果樹

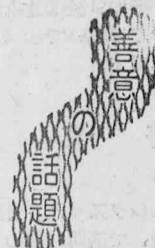
ぼんかんの収穫=中旬から収穫が始まるが収穫する場合、傷のついた果実、スアがりした果実は別にしておく。収穫したら重量が5~6%減るまでしおらせる。

また、出荷販売は市況をみて計画的にする
寒害対策=くぼ地や、平坦地の園の幼木や若木では、こもかけをして寒害にそなえる。また、風のあたる園では破風垣やイラサ竹、

12月の行事予定	1日・不在者投票(町役場・9日まで)	3日・職場職域バレー大会(大小・神小)	4日・65才以上老人健康診査(町内各医院・8日まで)	・選挙管理委員会(会議室)	・農業会議主催農家研修会(鹿屋合同庁舎)	5日・町音楽祭(神川小学校・8校・午前10時~)	・生活保護費支給(役場会議室)	6日・民生委員定例会(役場会議室)	・インフルエンザ予防接種(大根古校区)	7日・家計簿記帳講習会(宮脇部落)	・インフルエンザ予防接種(宿利原校区)	・インフルエンザ予防接種(池田校区)	・栄議院議員総選挙(午前7時~午後6時)	・みかん貯蔵研修会(神川)	11日・教育委員学校訪問(8校・12日まで)	13日・インフルエンザ予防接種(宿利原校区・2回目)	14日・インフルエンザ予防接種(種池田校区・2回目)	15日・部落長連絡協議会(中央公民館)	16日・町内一周駅伝(午後1時~)	18日・一般レントゲン検診(脱ろう分・20日まで)	20日・農業委員会(議事堂)
----------	--------------------	---------------------	----------------------------	---------------	----------------------	--------------------------	-----------------	-------------------	---------------------	-------------------	---------------------	--------------------	----------------------	---------------	------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------	-------------------	---------------------------	----------------

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

※免許取得試験日のお知らせ
 ◎原動機付自転車・小型特殊
 十二月六日（水）
 大根占警察署
 十二月十九日（火）
 田代町立公民館
 ◎自動二輪車
 十二月七日（木）
 十二月二十五日（月）
 大根占警察署



次のかたがたから、それぞれご寄付くださいました。厚くお礼申し上げます。

△町社会福祉協議会へ

▲香典返しにかえて

神川中の故番園ツルさんのご遺族、番園五夫さんから

五千元

木場の故室屋幸千さんのご遺族、室屋和夫さんから

一万元

上之宇都の故福崎吉左衛門さんのご遺族、福崎助次郎さんから

一万元

瀬戸山の故坪内菊蔵さんのご遺族、坪内キクエさんから

五千元

△錦江園（老人ホーム）のおとしりのかたがたへ

才原の永野嘉一さんから

二畝分

大根占郵便局長の三善頼章さんから年賀ハガキ

百枚

婦人ガンの検診

婦人（子宮）ガンの検診をつぎのとおり実施しますので希望の方は申し込みください。

◎実施日時

昭和48年1月11日・12日

◎申し込み締切り

12月20日まで

◎検診料

四〇〇円（但し国保世帯については二〇〇円）

◎申し込み先

各部落婦人会長まで

健康

気温の変化が激しいせいか、早くもカゼにかかる人が続発しているようです。カゼのなかでも、一番恐いのはインフルエンザです。一般的にいうと、高熱、関節痛、腰痛、下痢、食欲不振などの症状をきたします。

が、インフルエンザはワクチンでかなり予防できます。予防接種は忘れずにうけましょう。

では、カゼの原因は何でしょうか。ひとつには、急な寒さのせいです。急に寒くなる

ると体内のウイルスや細菌のバランスがくずれ、カゼを起こすウイルスが強力になるわけですね。でもウイルスが体内に入っただけからといって誰れもカゼにかかるわけではありません。

睡眠不足や疲労などで体調がよろしくない、たばこを吸いすぎているとかかりやすいわけですね。かねてから栄養や睡眠を十分とっていれば、めったにかかりません。しかも、かかっても軽くすみ

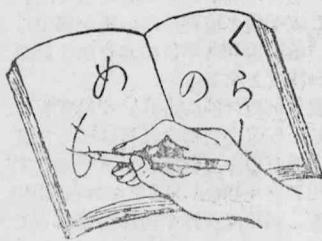
ます。また子供が戸外から帰ったときは忘れずにウガイをさせましょう。

衣

冬の日ざしは弱く、短く、洗たくものの乾きがおそく困ってしまします。冬の衣服は厚手でよく毛糸のセーターなどはなかなか乾きません。夏の間は、一日に二回も三回も洗たくできたのに朝洗たくして干し、夕方これをたたむのが精一ぱいの今日このごろです。

夏ほど汗をかくわけではあ

りませんが、下着類は毎日とりかえて清潔にいたしましょう。また、毛糸類の洗たくには、とくに細かな心づかいが大切です。まず、中性洗剤を選びぬるま湯（三十度～三十五度）で、おしつけ洗い、やつかみ洗いの方法で手洗いします。他の下着類や綿物と一緒に洗たく機に投げこまれてはたまりません。型がくずれたり、縮んだり、毛ばだったりすることはいけません。手早くすすいで脱水しますが、ねじりしぼりはやめましょう。乾いたタオルについで、上から押すようにしてよく水気をとりまします。とくに厚手ものはタオルについで洗たく機で脱水をしましょう。水気を充分とれば、型もくずれにくいので、さおやハンガーにかけて、日陰に干しておきます。



食

気温が一度下がる

と、ごはん一ぱい分のカロリーが余計に足りてしまいます。寒さを防ぐには、まず十分な栄養をとって、体のなかから暖まることが一番のよいです。それには肉類やチーズなど良質のタンパク質が効果的です。また体内にとり入れたカロリー源をエネルギーにかえるには、ビタミンBが

欠かせません。ニラ、ニンニク、ネギ、ニンジンなどを肉類と同時にとることです。「寒いからいっぱいやるのか」とお酒にエネルギーを求めるのは、皮膚表面からの熱の放射がはげしくなるので実は逆効果なのです。年末年始はどうしても男の人のお酒を飲む機会が多くなるようですが、アルコールが肝硬変の原因の一つと考えられています。しかしこれが絶対の原因ではなく、むしろ粗食、ビタミンB群の不足がその原因と考えられます。とはいっても多量にお酒を飲む人に多いことは事実です。要は十分なタンパク質をとりながら、いかにえれば肝臓を保護しながらお酒を飲むということが大切なのです。

住

寒さと共に火災のシーズンがやってきました。火災のほとんどは、私達のちょっとした不注意や不始末によって発生しています。とくに、たばこの火の始末、暖房器具等の取扱いに十分気を付けたいものです。暖房器具なかでも電気こたつの普及もさることながら、便利で手軽なストーブが最近ではどの家庭でも見受けられるようになりまし

た。電気やガスのストーブでもありますが、最も燃料が安価で一般的な石油ストーブが多く使われています。石油ストーブの燃料タンクに灯油を注ぐときは必ず使用前に、または火を消してから給油しましょう。